

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	川西市立多田小学校 主幹教諭 川崎 康代	研究グループ名 (川西音楽研究会)
-------------	-------------------------	------------------------

研究テーマ分類番号 (1)

(1)研究テーマ

響きあい 深めよう つながろう
～聴いて感じたことを思いや意図を持って表現しよう～

(2)研究経過及び具体的な取組

6月 4日 授業研究

- ・場 所：川西市立加茂小学校
- ・内 容：日本の音楽を取り入れた授業研究の発展(舞台発表に向けて)(5 年)
を行った。「茶つみ」「ずいずいずっころばし」「ほたるこい」「七つの子」「こきりこ」を演奏。
- ・講 師：関西外国語大学教授
- ・成 果：テーマである～日本の心・風景～を意識した発声になり、それぞれの曲のテンポも落ち着いてきた。「こきりこ」の三味線と踊りも余裕が感じられた。
- ・課 題：「ほたるこい」の『たる』の音程と発音が落ちてしまうなど、指揮の難しさが課題である。

6月 6日 授業研究

- ・場 所：川西市立緑台小学校
- ・内 容：講師を招聘し、器楽教材を中心とした授業研究(6 年)を行った。
題材名「風を切って」
本時の目標「曲全体の感じをつかみ、パート(主旋律)の特徴を生かして、リコーダーで演奏することができる」(1/6 時)
- ・講 師：関西外国語大学教授
- ・成 果：導入時に歌う時の歌声が、響きのあるものとなってきた。リコーダーではタンギングを意識出来るようになってきた。
- ・課 題：リコーダーで、主旋律の特徴であるスタッカート表現するのが難しい児童もいるため、指導方法等の工夫が必要である。

8月 9日 実技研修

- ・場 所：川西市立緑台小学校にて(参加者 23 名)
- ・内 容：三味線実技研修
午前、基本奏法を研修し簡単な曲を練習した。午後はグループごとの練習を中心に、最後に発表をして一日の成果を披露した。
- ・講 師：藤本流師範
- ・成 果：「荒城の月」「さくら」「こきりこ」など教材曲の練習は、授業で生演奏できるなど、指導面で生かせるので、個々の資質能力の向上に役立てることができた。

8月 22日 実技研修

- ・場 所：川西市立緑台小学校(参加者 36 名)
- ・内 容：器楽実技研修
午前、ソプラノリコーダーの研修、午後は、「情熱大陸」の合奏研修をした。曲想表現のために強弱をつける・テンポを変える・反復を増やすなどを取り入れ、繰り返し練習した。
- ・講 師：箕面市立中小学校教諭
- ・成 果：クラス合奏にとどまらず、校内音楽会でも発表したいと思える曲で有意義な会となった。